

もう一度考えてみよう 「生物多様性」

5月22日は、国連が生物多様性に関する普及啓発を目的として定めた「国際生物多様性の日」です。

シジウカラさん



ガマ博士! 生物多様性ってなあに?

生物多様性とは、さまざまな自然があり、そこに特有の個性を持ついきものがいて、それぞれの命がつながり合っていることじゃ。

ガマ博士



なるほど〜。
区ではどんな取り組みをしているんだろう?

自然と共生する社会の実現を目指して、普及啓発イベントの開催や、樹木を保全してくれる人に対する助成金の交付などに取り組んでおるぞ!



国際生物多様性の日を機に、私たち一人一人ができる範囲で自然にやさしい暮らし方をしていくことで、生物多様性の保全に貢献できるね!

そのとおり! では最後に、先ほど話した保存樹木の助成制度を紹介するのじゃ。



保存樹木等指定・助成制度

敷地内の樹木などが指定を受けた場合、維持管理費を助成します。



●指定対象(他にも要件あり)

- ①樹木(1.5mの高さでの幹周りが80cm以上など)
- ②樹林(樹木など緑地の面積が300m²以上)
- ③生け垣(高さが90cm以上で、長さが20m以上)

●助成額

年額6,000円~50,000円(本数や長さ、面積による)

問みどり土木政策課みどりの係 (☎5722-9355、FAX 3792-2112)

グリーンクラブに参加しませんか



グリーンクラブは「自分たちの手で、自分たちの街を美しく」という理念のもと、地域住民3世帯以上でグループを作り、公園や緑道などの花壇を手入れする登録制のボランティア団体です。

あなたの家の近くの公園や緑道、駅前で、四季折々楽しませてくれる花壇は、グリーンクラブの皆さんが大切に育てています。参加方法など詳細は区Webをご覧ください。

時 5月~6月、11月、令和9年3月(年3回)

場 区内の公園・緑道など

内 区が配布する花苗を、指定の花壇に植え付け、年間を通じて手入れするなどのまちの美化・緑化活動

対 区内在住の3世帯以上のグループ

申 活動希望地(公園、緑道など)を決めて、電話/窓口。現地調査後、登録を決定



問先 道路公園課公園活動支援係
(総合庁舎本館6階、☎5722-9242、FAX 3712-5129)



講座・催し

目指せ健康長寿! フレイル予防プロジェクト

フレイルとは、加齢により心身の機能が低下した状態です。

フレイル予防プロジェクトは、東京大学高齢社会総合研究機構が開発した科学的根拠に基づくプログラムを実施して、高齢者の健康長寿やシニア世代の活躍を応援する取り組みです。

フレイルサポーター養成講座

フレイルサポーターはフレイル予防を広める区民ボランティアです。毎日を元気に過ごすために、フレイルサポーターになりませんか。養成講座を受講するとフレイルサポーターに認定され、講座修了後はフレイルチェック会に携わっていただきます。

時 6月17日(水)・18日(木)・25日(木)・30日(火)

13:00~16:00(全4回)

場 大会議室(総合庁舎本館2階)

内 フレイル予防の知識とフレイル測定方法の習得

対 ボランティアとして活動できる区内在住・在勤者

定 20人(抽選)

申 5月7日~22日に、電話



フレイルチェック会

フレイルの状態をチェックシートや測定機器を使って確認します。フレイルサポーターがフレイル予防のポイントをお伝えします。

時 6月8日(月)14:00~16:00

場 北部地区サービス事務所

対 おおむね65歳以上の区内在住者

定 20人(先着)

申 5月7日から、電話



筋肉量の確認



フレイルチェックシート



滑舌の確認

問先 介護保険課介護予防係(☎5722-9608、FAX 5722-9716)